

『宇宙戦艦ヤマト』『機動戦士ガンダム』『アリオン』『ナムジ』・・・  
アニメ&漫画界の巨匠によるクリエイションの魅力に迫る、  
過去最大級の展覧会！

えが  
描く人、  
安彦良和

Yasuhiko Yoshikazu :  
Divine Animator and Draftsman



[1] © 創通・サンライズ © 東北新社 © サンライズ

『機動戦士ガンダム』キャラクターデザイナー兼アニメーションディレクター、『ネオ・ヒロイック・ファンタジア アリオン』『巨神ゴッグ』等を手がけるアニメ監督として著名であり、『王道の狗』『乾と巽-ザバイカル戦記-』といった数々の歴史物語の編み手でもある安彦良和の作品の魅力をも十分に味わえる回顧展です。初公開を含むアニメ制作時の貴重な資料、



[2] 安彦良和近影

端正美しいカラーイラスト、漫画原稿など1,000点以上の作品資料をもとに約50年にわたる創作仕事の数々を紹介します。大学生だった安彦が学生運動に参加し、その思想を育むことになった「原点」の地である青森にて、圧倒的な画力や緻密な時代考証、独自の歴史認識にもとづくクリエイションの軌跡をたどります。



## 展覧会のみどころ

### (1) 膨大な数のイラストと漫画原稿で、比類ない画力を堪能

1,000点以上にのぼる出品作品には、ポスターの原画や雑誌表紙を飾ったイラストなど、人の目を釘付けにする魅力的な絵が多数。圧倒的な美しさを放つ漫画原稿も存分にご覧いただけます。

### (2) 制作過程がわかる初公開資料の数々

映画ポスターの下絵やキャラクター設定のラフスケッチ、アニメ制作における絵コンテなど、名作の数々が生まれた瞬間を伝えてくれる直筆資料も出品。今回が初公開となる貴重な資料も含まれます。

### (3) 青森ゆかりの資料を特別展示

青森展独自の要素として、弘前大学附属図書館が所蔵する安彦らが発行していた機関紙等学生運動関連の貴重な資料、安彦がカットを手がけた弘前のタウン誌を公開。安彦にとっての原点とその後のクリエイションの関係を考察します。

### (4) 多彩な関連プログラム

会期中は、『機動戦士ガンダム』劇場版三部作など展覧会関連作品の上映や豪華ゲストを招いてのトークショーなどを開催予定。イベント情報は、随時、当館ホームページ等でお知らせします。

## 展示構成

### 1章 安彦良和の現在

本展導入として、SFや歴史、神話をとおして「人間」を自由闊達に描く安彦の現在地を紹介します。『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』や最新のアニメ『機動戦士ガンダム ククルス・ドアン』の島、完結したばかりの長編漫画『乾と巽－ザバイカル戦記－』などから、今なお第一線で活躍する安彦が社会に向けたメッセージを読み解きます。

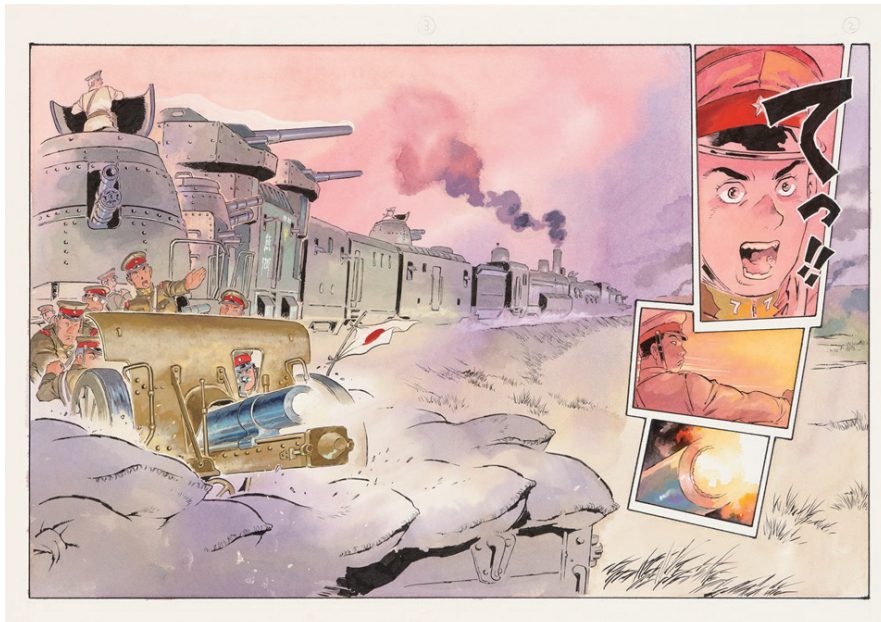


【3】『機動戦士ガンダム THE ORIGIN V 激突ルウム会戦 Blu-ray Disc Collector's Edition (初回限定生産)』飾れる収納箱用イラスト原画 © 創通・サンライズ



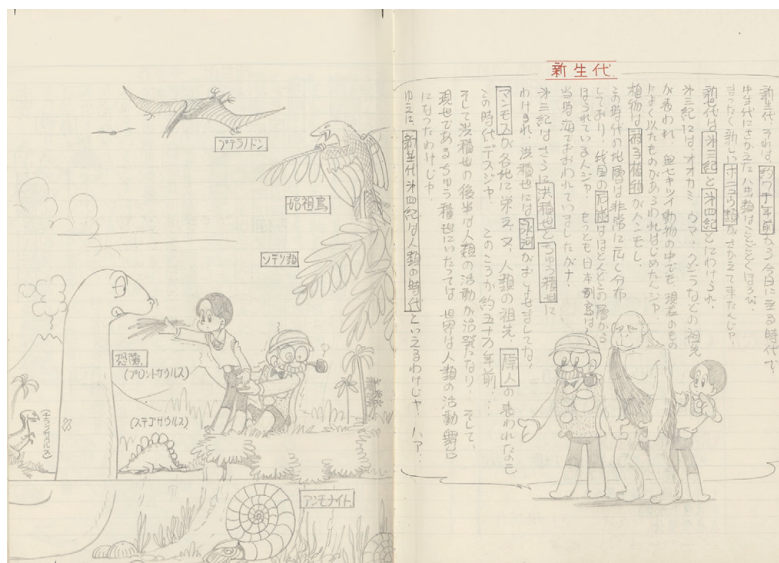
【4】『機動戦士ガンダム THE ORIGIN VI 誕生 赤い彗星 Blu-ray Disc Collector's Edition (初回限定生産)』飾れる収納箱用イラスト原画 © 創通・サンライズ

【5】『乾と翼－ザバイカル戦記－』第1話より  
 漫画原稿 2018年 © 安彦良和／講談社



## 2章 北海道に生まれて

安彦良和は、幼い頃から絵を描くのが大好きな少年でした。中学時代のイラスト入りの学習ノート、大学時代に描いた漫画などから、「描く人」の原点を探ります。



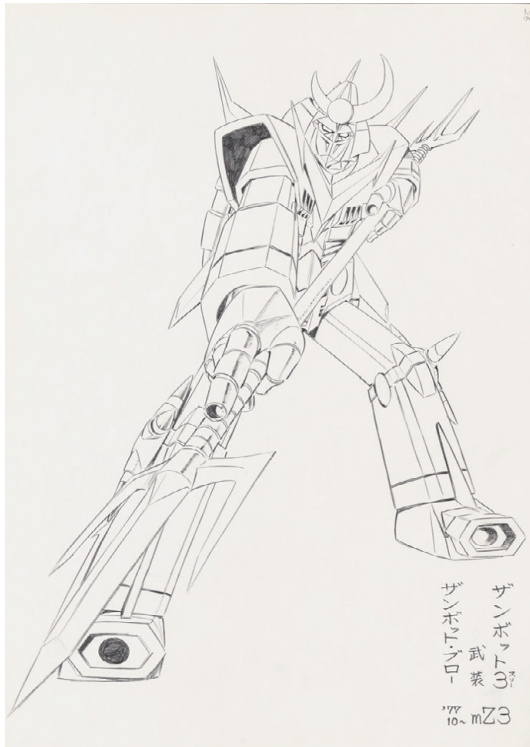
【6】『重点整理帳』（理科）1963年



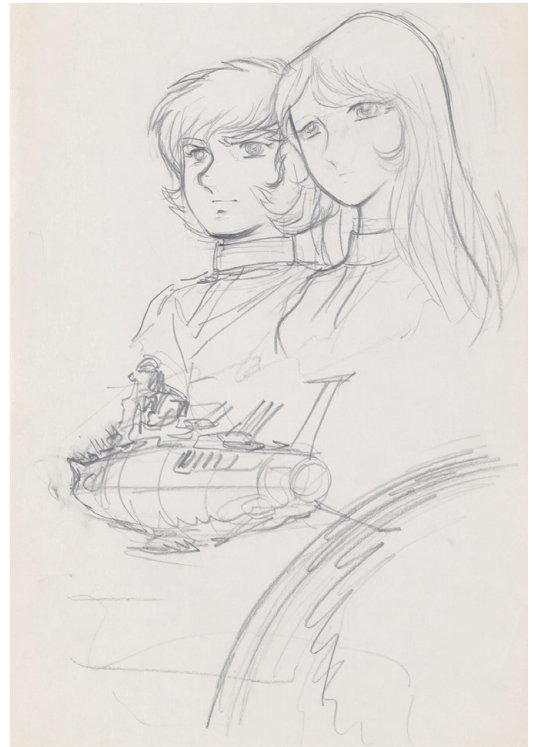
【7】『遙かなるタホ河の流れ』上巻より

### 3章 動きを描く

『宇宙戦艦ヤマト』で一躍注目を集めた安彦は、様々な作品で生き生きとしたキャラクターを描きました。花形アニメーターとして活躍した時代を振り返ります。



【8】『無敵超人ザンボット3』ザンボット3 武装 ゴンボット・ブロー 決定稿  
© 創通・サンライズ



【9】『さらば宇宙戦艦ヤマト 愛の戦士たち』ポスター原案  
© 東北新社 / 著作総監修 西崎彰司

### 4章 カリスマ・アニメーターの誕生



【10】『機動戦士ガンダム』（劇場版）  
宣伝ポスター用イラスト原画 1981年 © 創通・サンライズ

社会現象を巻き起こした人気作『機動戦士ガンダム』で安彦が果たした役割を、貴重な資料や迫力あるイラスト原画によって紹介します。



【11】『機動戦士ガンダムIII めぐりあい宇宙（そら）編』  
（シャアとアムロの決闘）原画 © 創通・サンライズ

## 5章 アニメーターとして、漫画家として

監督を務めたアニメ『クラッシャージョウ』『ネオ・ヒロイック・ファンタジア アリオン』『巨神ゴグ』『ヴィナス戦記』のほか、漫画デビュー作『アリオン』、そして小説挿絵や自ら著した小説、実現しなかった企画まで、旺盛な創作意欲で駆け抜けた80年代を通覧します。



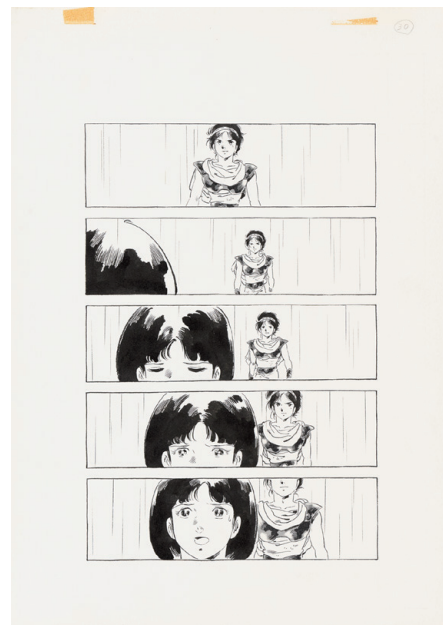
【12】『巨神ゴグ』

『アニメージュ』1983年8月号  
付録ポスター用イラスト原画 © サンライズ



【13】『クラッシャージョウ』

『ジ・アニメ』1983年2月号表紙イラスト原画  
© 高千穂&スタジオぬえ・サンライズ



【14】『アリオン』

SECT.XX VIII 終章〈その2〉より  
漫画原稿 1984年 © 安彦良和

## 6章 歴史を描く

古代出雲を舞台とした『ナムジー大國主』『神武』、日本近代の戦争を描いた『虹色のトロツキー』『王道の狗』『天の血脈』、キリスト教を主題とした『ジャンヌ』『イエス』など、ライフワークともいえる歴史漫画の数々を紹介します。



【15】『ジャンヌ』愛蔵版カバーイラスト原画 2002年 © 安彦良和



【16】『虹色のトロツキー』第5集第3章より 漫画原稿 1994年  
© 安彦良和／潮出版社

## 関連プログラム

- 4.19(土) オープニング・トーク「安彦良和の“原点”を探る」安彦良和 × 斉藤光政(東奥日報編集委員)  
※4/19(土)は、午前に担当学芸員らによるギャラリートークも行います。
- 4.20(日) 特別上映会+トークショー I『わんぱく大昔クムクム』安彦良和 × 麻上洋子(一龍齋春水)(声優・講談師)
- 5.24(土) 特別上映会+トークショー II  
『機動戦士ガンダム』『機動戦士ガンダムII 哀・戦士編』『機動戦士ガンダムIII めぐりあい宇宙編』  
安彦良和 × 庵野秀明(監督・プロデューサー)
- 5.25(日) 特別上映会+トークショー III『クラッシャージョウ』安彦良和 × 高千穂遙(作家)

※参加申込方法等詳細は、当館ホームページ等でお知らせします。

## 安彦良和 (やすひこ・よしかず)

1947年、北海道遠軽町に開拓民の3世として生まれる。66年に弘前大学入学、学生運動をけん引したことから退学となり、上京。79年『機動戦士ガンダム』でキャラクターデザインとアニメーションディレクターを担当。83年に映画『クラッシャージョウ』で初監督。テレビアニメでは、83年放送の『巨神ゴーク』で原作、監督を務める。一方、79年には『アリオン』で漫画家としてデビュー。89年以降は漫画に専念し、『ナムジー大國主』『虹色のトロツキー』『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』などを発表。今年3月より集英社週刊ヤングジャンプにおいて、新連載『銀色の路-半田銀山異聞-』(ぎんいろのみち-はんだやまいぶん-)を短期集中連載として開始する。

展覧会名	描く人、安彦良和
会期	2025.4.19(土) - 6.29(日)
休館日	4.28(月)、5.12(月)、5.26(月)、6.9(月)、6.23(月)
開館時間	9:30 - 17:00(展示室入場は16:30まで) ※5月24日(土)は20:00まで開館(展示室入場は19:30まで)
観覧料	一般1,700(1,500)円、高大生1,000(800)円、18歳以下および高校生 無料
セット券	[安彦良和展 + コレクション展 2025-1] 一般2,000円、高大生1,100円 ※( )内は20名以上の団体料金。※※心身に障がいのある方と付添者1名は無料。
主催	安彦良和展青森実行委員会(青森県立美術館、東奥日報社、青森放送、青森県観光国際交流機構)
企画制作	毎日新聞社、MBS テレビ
企画協力	PONTOON
協力	アニメ特撮アーカイブ機構、潮出版社、NHK出版、科学映像館を支える会、Gakken、KADOKAWA、九月社、講談社、スタジオぬえ、創通、中央公論新社、東映、東北新社、バンダイナムコフィルムワークス、文藝春秋
特別協力	国立大学法人弘前大学
後援	デーリー東北新聞社、陸奥新報社、青森ケーブルテレビ、エフエム青森

本リリース掲載図版をデータでご提供します。下記の電話やメールで【図版番号】をお知らせください。

[画像貸出条件]

- 本展広報目的での使用に限ります(会期終了まで)。使用後は、データの破棄をお願いいたします。
- 展覧会名、会期・会場名のほか、画像掲載の際は作品名、コピーライトを必ずご掲載ください。
- 画像は全図でご使用ください。トリミング、文字寄せなどの加工・改変はできません。
- 転載、再放送など、二次使用される場合は別途申請をお願いいたします。なお、展覧会終了後の二次使用はできません。
- webサイトに掲載する場合は、72dpi以下、400×400pixel以下の解像度にし、コピーガードをかけてご掲載ください。
- 基本情報、画像使用などの確認のため、ゲラ刷り・原稿段階のものを「事務局広報担当」にお送りください。
- 掲載・放送後は、必ず掲載紙(誌)、掲載URL、同録DVDを下記「事務局広報担当」までお送りください。

問い合わせ先 | 〒038-0021 青森市安田字近野 185 安彦良和展青森実行委員会事務局(青森県立美術館内)  
TEL017-783-3000 FAX017-783-5244 Email bijutsukan@pref.aomori.lg.jp www.aomori-museum.jp  
[広報] 荒木・西川 [学芸] 板倉・奥脇